

生徒一人一人が，体力向上を目指す体育授業の取組  
～満足感や達成感を味わう  
体育授業や体育的行事を目指して～

南九州市立知覧中学校  
教諭 冷水 隆志

目 次

1	研究主題	2
2	主題設定の理由	2
	(1) 新体力テストの結果から	
	(2) 学校教育目標から	
	(3) 校内研究テーマから	
	(4) これまでの指導から	
3	研究の仮説	3
	(1) 仮説1【教科体育において】	
	(2) 仮説2【体育的行事において】	
	(3) 仮説3【活動の振り返りににおいて】	
4	研究の具体的な内容	3
	(1) 仮説1における手立て	
	(2) 仮説2における手立て	
	(3) 仮説3における手立て	
5	研究の全体構造図	4
6	研究の実際	4
	(1) 教科体育において	
	(2) 体育的行事において	
	(3) 活動の振り返りににおいて	
7	研究のまとめ	11
	(1) 研究の成果	
	(2) 今後の課題	
8	終わりに	11

【引用・参考文献】

- 『中学校学習指導要領解説 体育編』平成30年 東山書房
- 『小学校学習指導要領解説 体育編』平成31年 東山書房
- 『学びの羅針盤』鹿児島県教育委員会
- 『体育の授業を創る』1994年 高橋建夫 編著 大修館書店
- 『体育授業を観察評価する』2003年 高橋建夫 編著 明和出版
- 『体育科教育』 2022年10月号 大修館書店

## 1 研究主題

### 生徒一人一人が、体力向上を目指す体育授業の取組 ～満足感や達成感を味わう体育授業や体育的行事を目指して～

## 2 主題設定の理由

### (1) 新体力テストの結果から

本校では、毎年4月に新体力テストを実施している。新体力テストの結果をもとに、どの体力要素を意識して授業づくりを行うかを決めている。今年度は、全国平均を大きく下回った全身持久力を高めることと、生徒が主体的に取り組む授業づくりに特化して研究を行った。

#### 【20mシャトルラン】

	中1男	中2男	中3男	中1女	中2女	中3女
本校平均	71.76	76.95	97.52	52.34	53.09	51.06
全国平均	71.57	88.28	94.81	56.33	62.32	62.12
県平均	67.92	84.11		51.56	57.96	
南九州市平均	63.08	79.36	96.53	45.63	55.01	55.63
全国比較	+0.19	-11.33	+2.71	-3.99	-9.23	-11.06
県比較	+3.84	-7.16		+0.78	-4.87	
南九州市比較	+8.68	-2.41	+0.99	+6.71	-1.92	-4.57

### (2) 学校教育目標から

本校の学校教育目標は「ふるさとを愛し、未来をたくましく生き抜く力を持った知覧の生徒の育成」である。

〈ふるさとを愛する生徒とは〉

- ・ ふるさとの伝統や文化を学び、それを大切にし、広く情報発信しようとする意欲や技能を持っている生徒

〈たくましく生き抜く力とは〉

- ・ 未知の事態に対し、自ら考え、判断し、行動できる力を持った生徒
- ・ 多様な他者を理解し、協働して課題を解決していくことのできる生徒

本実践では、「自ら考え、判断し、行動できる」、「多様な他者を理解し、協働して課題を解決していく」生徒の育成を目指した。

### (3) 校内研究テーマから

本校の研究テーマは、「主体的に学びに向かう生徒の育成～キャリア教育の視点に立った実践を通して～」である。職員・生徒を対象に「キャリア教育アンケート」を実施し、基礎的・汎用的能力との対応関係を見たところ、3学年共通する要素が「主体的行動」における課題が明らかとなった。そこで、「主体的行動」につなげるように、学校教育活動全体で実践に取り組んでいる。

(4) これまでの指導から

学習指導要領で示されている学びとこれまでの実践から、次のような部分に改善の必要があると考えた。

① 主体的に行動できる手立てを工夫していたか？

→ 教師の一方的な指示や教授のみで、生徒の自主性を促すことができただろうか。

② 一人一人が満足感や達成感を味わう体育授業や体育的行事を行っていたか？

→ 運動やスポーツが苦手な生徒が主体的に取り組むことができる手立てを行っていたらどうか。

③ 多様な関わり方をするために必要な手立てを工夫していたか？

→ 「する」だけの学校行事になっていなかったらどうか。

自分の指導を振り返り、運動・スポーツ好きの生徒の育成、自主的な活動への導くことが、不十分だと感じ、この研究を深めていきたいと考えた。

### 3 研究の仮説

(1) 仮説1【教科体育において】

学習や活動場面において、授業の流れや単元の学習内容を確認できるようにし、自分の目標を設定して活動することができれば、体力向上への意識を高めることができるのではないかと。

(2) 仮説2【体育的行事において】

事前に練習計画や活動計画を提示し、一人一人が活動において「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方を意識することができれば、満足感や達成感を味わうことができるのではないかと。

(3) 仮説3【活動の振り返りににおいて】

学習や活動後に自分が感じたことや考えたことなどをまとめ、他者に伝える時間を設定することで、一人一人が満足感や達成感を味わうことができるのではないかと。

### 4 研究の具体的な内容

(1) 仮説1における手立て

ア 授業の流れや単元の学習内容を確認できるように、オリエンテーションの充実を図る。

イ 自分の課題を見付け、能力に応じた目標設定ができるようにする。

(2) 仮説2における手立て

ア 各行事において、生徒会やリーダーを中心に活動できるようにする。

イ 見通しをもって活動できるように、練習や活動計画を提示し、生徒全員へ周知する。

ウ 「する・みる・支える・知る」の関わり方を常に意識させ、一人一人が積極的に参加できるように雰囲気づくりを行う。

エ 生徒同士の打ち合わせや発表する機会を設定し、個人や集団が成長する過程や姿を実感できるようにする。

(3) 仮説3における手立て

ア 学習後の振り返りを設定し、自分が感じたことや考えたことをまとめ、発表する機会の充実を図る。

イ 異学年の考えを聞いたり、取り組む態度を見たりして、よりよい学校づくりに生かす。

ウ キャリア・パスポートを活用し、学期や年間を通して活動を振り返る機会を設定する。

5 研究の全体構想図



6 研究の実際

(1) 教科体育において

ア 生徒が見通しをもって、活動に取り組める手立ての工夫

生徒にとっては、過去の失敗経験や運動経験の不足から、体育の授業に対して苦手意識や不安を抱えている生徒もいることが考えられる。また、生徒にとっては、初めて行う運動や種目では、不安感を抱いている場合もある。特に、運動が得意でない生徒にとっては、緊張や不安、失敗経験から運動嫌いを誘発してしまう可能性もある。

そこで、年度初めのオリエンテーションで、授業の約束事や学ぶ姿勢を確認するようにした。各単元のオリエンテーションでは、失敗をさらけ出せる雰囲気づくり、記録に挑戦することを認め合う雰囲気づくりに重点を置くようにした。お互いに、失敗したときに掛けてもらいたい言葉や、やってもらいたい行動などを話し合ったり、発表したりすることで、気持ちの共有化を図るようにした。【資料① 保健体育「授業の心得」】 【資料② 陸上「長距離走」】

保健体育「授業の心得」

これから、みなさんが「楽しい」「できた!」「分かった!」と実感できる保健体育の授業をしていくために、授業の心得を確認します。授業で、みなさんが**健康・安全に学習する(けが、事故、病気から自分や友達を守る)**ために大切なことです。知覧中学校の生徒全員が「保健体育の授業が好き」になってもらえる授業をしていきたいと考えています。そのために、必要な授業の心得を確認します。ぜひ、みんなで取り組んでいきましょう。

1 体育の授業

(1) 授業前

ア 更衣…決められた場所で着替えましょう。男子:教室 女子:更衣室  
荷物は、きれいにたたんで(バッグにいれる)、整理整頓を心掛けよう。

イ 服装…正しい服装を心がけましょう。シャツを入れる。ズボンを下げない。安全のために。  
冬は、ジャージの下に夏の体育シャツ及びハーフパンツを着用しましょう。

ウ 体調確認や水分補給…体調が悪くないか確認しましょう。  
熱中症対策のため、季節に関係なく、水分補給をしましょう。

(2) 授業中

ア 「する」「見る」「聞く」ときの、区別をつけましょう。  
① 「する」とき…練習、ゲーム、ワークシートへの記入  
② 「見る」とき…模範、仲間のプレイ、映像  
③ 「聞く」とき…先生の指示、笛の音、先生や友達のアドバイス  
イ ブラスの言葉掛け「すごいね」「うまいね」「やったね」など、うれしくなる言葉を友達に言おう。【みんなで、高め合おう】※失敗しても、助け合う、認め合う雰囲気  
ウ 健康・安全への気配り…体調が悪くなったら、すぐに伝えよう。  
ケガをしないように、みんなで安全に注意しよう。  
※ 見字をするとき必ず、授業前に理由を伝えて、見字者カードに記入して、提出しましょう。

(3) 授業後

ア 次の授業には、絶対に遅れません。  
イ 手洗い、うがいをしっかりと行いましょう。  
ウ 保健体育のファイルを、授業後、または、放課後に体育館が集めて提出しましょう。

2 保健の授業

(1) 教室で行います。  
(2) 持ってくる物…保健の教科書、実技の教科書、ファイル

3 評価について

○ 知識及び技能…ルール理解、基本用語の確認、技能の習得(技ができる楽しさや喜び)  
○ 思考・判断・表現…自己の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫している。自己や仲間の考え方を他者に伝える。  
○ 学びに向かう力、人間性…積極性、自主性、友達とのかかわり、健康・安全への配慮

始め時	・ 全力を出して、がんばること。 ・ 友達を支えること。 ・ 元氣よく、安全に活動すること。
中時	・ 手を抜くこと。 ・ 友達を傷つけること。 ・ 危険な行動をとること。

陸上(長距離走)

長距離走は、自己のスピードを維持できるフォームでペースを守りながら、一定の距離を走り通し、タイムを縮小したり競争したりできる種目です。自分の体力や体調に応じて、記録の更新や体力の向上を目指していきましょう。

1 授業の流れ

- ウォーミングアップ(グラウンドに来た人から、周回を始める。)※健康観察を必ず行う。
- あいさつ
- 健康観察、準備運動(グループで)
- 今日の学習の確認及び目標設定
- 練習
  - 10分間走(10分間で距離を競う。)
  - インターバルトレーニング(不完全休息を取り入れる。)
  - レペティショントレーニング(完全休息を取り入れる。)
  - タイムトライアル(決まった距離を走り、タイムを競う。)
  - ロングスローディスタンス(LSD)(長い距離をゆっくりとしたペースで走る。)
- ワークシート記入
- 整理運動、次回の説明
- 健康観察、あいさつ

2 ペースを維持するために【実技の教科書P68, 69】

- 呼吸法
- フォーム
- デッドポイントからセカンドウィンドへ

イ 単元ごとの指導計画の作成

体育の授業において、教師が「何を」教えるか、生徒が学習したことを「いつ」活用できるかを明確にすることが重要である。学習指導要領解説体育編に指導内容の明確化が図られていることから、各単元において、単元構造図を作成し、指導と評価の充実を図った。また、学習活動に即した評価規準を作成し、学習の成果を確認しながら、日々の授業づくりに活かすことができた。

8 球技「バレーボール」第3学年における指導と評価の計画									
単元 の 目 標	知識及び技能	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。バレーボールでは、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。							
	思考力、判断力、表現力等	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。							
	学びに向かう力、人間性等	バレーボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保することができる。							
学 習 の 流 れ	1	オリエンテーション・見通し・特性・授業の進め方・安全面の配慮・準備の仕方・アンケート	2	3	4	5	6	7	8
	10	健康観察、準備運動、ストレッチ、前時の振り返り、学習課題の確認							
	20	ボール操作の復習 ・アンダーハンドパス ・オーバーハンドパス	自己の課題把握 ・サービス・スパイク・ブロック  課題練習Ⅰ	チームの課題把握 ・ポジションや役割の確認 ・ローテーション・レシーブ後の動き  課題練習Ⅰ			ゲーム運営 まとめ		
	30	試しのゲーム					試しのゲーム		
	40	課題練習Ⅱ					学習カード		
	50	振り返り							
評 価 機 会	知・技	①	②		③				③
	思 判 主 体 的			②		②	①	③	②
	主 体 的			②	③	②	③		
単 元 の 評 価 規 準	知・技	① 球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて、言ったり書き出したりしている。 ② ポジションの役割に応じて、拾ったりつなぐたり打ち返したりすることができる。 ③ 連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くことができる。							
	思・判・表	① 自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦、戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。 ② チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の役割を振り返ることができる。 ③ 体力や技術の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けることができる。							
	主 体 的	① 作戦などについての話し合いに貢献しようとする事ができる。 ② 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとする事ができる。 ③ 互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとすることができる。							

学習指導要領に例示されている内容を参考に、指導する内容を明確した。

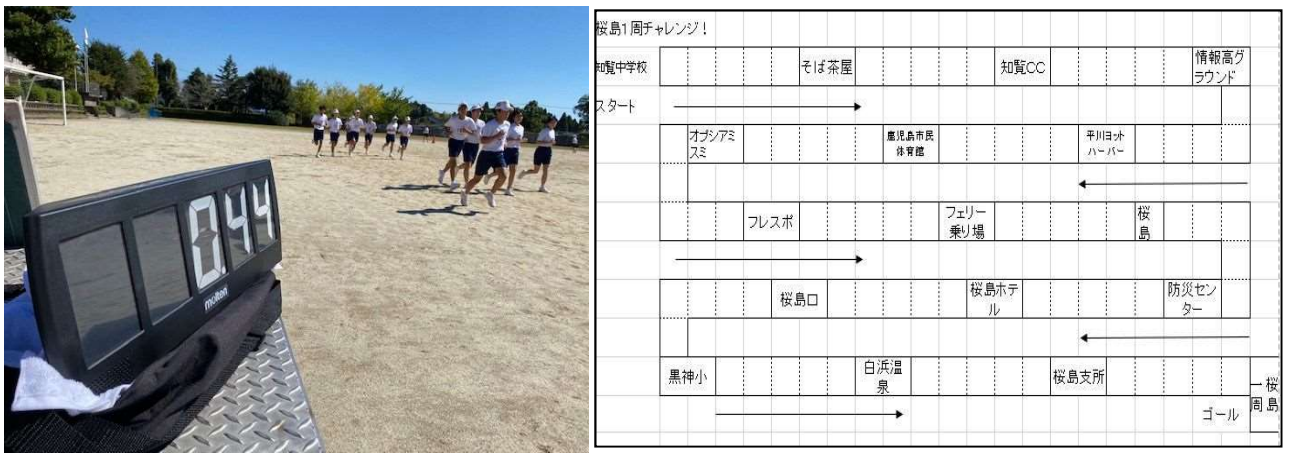
評価機会を設定し、授業マネジメントの工夫を行った。

【資料③ 単元構造図3年「バレーボール」】

ウ 見通しをもち、課題に挑戦するための教材活用

長距離走の授業では、自分の記録に挑戦することを目的としている。しかし、どれくらいの速さで走ると記録を更新できるのかが分からず、漠然と走るだけの授業になりがちであった。そこで、「見て分かる」教材として、外用デジタルタイマーを準備した。【資料①】1周200mのグラウンドをどのくらいのタイムで走ると、自分の目標や記録を達成できるかを考察させて、練習に取り組むようにした。タイムを意識しながら走ることで、呼吸の変化や主観的な疲労度がより分かりやすくなり、ペースコントロールが容易にできるようになった。

また、自分の走った距離を楽しみながら記録できるワークシート【資料②】を活用し、走るための動機付けにつながる事ができた。授業の振り返りでは、お互いに走った距離を確認し、お互いに称賛する姿も増えてきた。 【資料①】 【資料②】

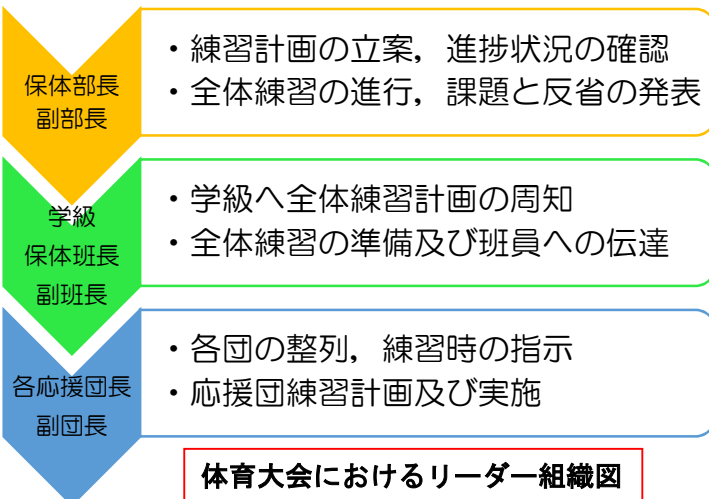


(2) 体育的行事において

ア 生徒会や各行事のリーダー育成

体育大会では、生徒会専門部保体部長、副部長、学級保体班長、副班長、応援団長、副団長をリーダーとして練習や活動を行った。全体練習の朝に打ち合わせを行い、学級、団から連絡を行うことで、練習内容の周知につながり、生徒が見通しをもって活動することができた。

校内マラソン大会においては、生徒会専門部保体班をリーダーとして練習や活動を行った。保体部長、副部長を中心に、計画・立案を行い、体育授業の中で練習を実施した。



団長を中心に演舞の確認を行う様子

## イ 体育的行事における運営に見通しをもつための工夫

本校の体育的行事は、体育大会、校内マラソン大会がある。体育的行事の運営においては、生徒会保体班を中心に行っている。生徒会専門部長、副部長、各学級の保体班全員に役割を持たせ、確実にやり遂げることで、達成感や充実感を味わうことを目的としている。仕事内容の確認し、運営における課題をそれぞれ考える場の設定を行った。経験がある2、3年生は、課題を見付けやすいため主体的に意見を発表できるが、1年生は、教師と一緒に考え、意見を出しやすいようにした。

打ち合わせを重ね、教師からの指示を少しずつ減らしたことで、本番では生徒が自分で考え、実践する姿が見られた。



【マラソン大会前に準備を行う保体班】

令和4年度 校内マラソン大会係分担任	
1	当日の流れ（保体班の仕事）
①	開会式 9:50~10:00 【進行:3年】 【保体班は、全校朝会の隊形で整列させる。】
②	開会宣言 (3年)「これから、令和4年度校内マラソン大会開会式を始めます。礼。」
③	会長あいさつ 「校長先生お願いします。」
④	競技場の注意 (3年) 指揮台へ上がる。 「競技前に各自ウォーミングアップをしっかりと行ってください。女子は、開会式終了後にすぐにグラウンドを周回してウォーミングアップを行いましょう。男子は、女子がスタートしてグラウンドを2周して全員校外に出たら、ウォーミングアップを開始してください。ゴールしたら、自分の着順カードをもって、体育館前に各クラスの机に行き、係に提示してください。最後まで、あきらめずに、自分のペースでゴールを目指してください。」
⑤	準備運動（保体部長:） ○ 屈伸、伸脚、伸脚深く、アキレス腱、回旋
⑥	これで、開会式を終了します。 女子は、すぐにグラウンドを周回してウォーミングアップを開始してください。 10:05にスタートをします。男子は、野球グラウンド側に待機して、ストレッチを行ってください。
⑦	女子スタート 10:10【係は、男子で行う。マスク着用】 ※ 女子1位がゴールするまでに必ずウォーミングアップを済ませること。 出発: 計時:(3年)(1年)先生(3台同時に計測) 着順カード配布 (3年)(2年)(1年) 着順判定の先生と協力( )
⑧	ゴールテープ(2年)(1年) 各クラス集計【体育館前で、各クラス名簿に着順を記録する。着順カードに名前を記入させ、提出を確認する。】
	1-1 1-2 2-1 2-2 3-1 3-2

【役割を確認するための資料】

## ウ 個人や集団が成長する過程や姿を実感できるための手立て

応援団は、毎年夏休みから練習を行っているが、練習の成果を発表する場が、体育大会予行や体育大会当日に限られていた。

そこで、結団式において、団長、副団長の決意表明を行い、夏休みからの練習の成果を、団全員に発表する場を設定した。初めての演舞披露ということで、練習不足の不安や緊張の表情も見られた。しかし、緊張を経験したことで、自分たちの課題に気付き、その後の練習では自分たちで課題解決を図ろうと意欲的に取り組む姿が見られた。体育大会前日には、応援団が、再度演舞披露をする時間を設定し、自分たちの演舞の完成度を示す機会を設け、成長の過程を表現する絶好の機会となった。



結団式での決意表明



解団式で保体部長の挨拶

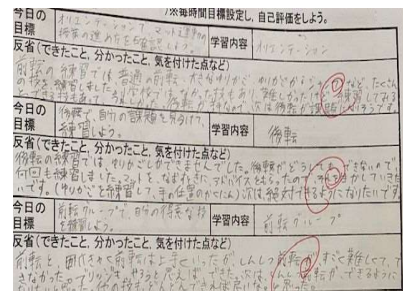
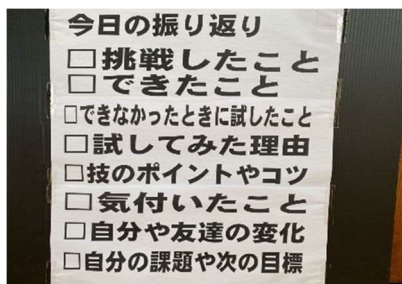


校長による講評

(3) 活動の振り返りにおいて

ア 学習や活動後の振り返りの設定

体育の授業では、学習で感じたことや考えたことをまとめるワークシートを準備した。自分の体の動きや技術習得のためのポイント、友達と協力したことなどをまとめ、ペアやグループで発表するようにした。また、友達のまとめたワークシートを提示することで、模範となり、意欲的にまとめることができるようになってきた。



【振り返りのポイント】

【発表の様子】

【授業ワークシート】

また、今年度からタブレット端末を活用し、見る振り返りにも重点を置いた。マット運動において練習で取り組んだ成果を動画で撮影し、ロイロノートを活用して課題提出できるようにした。最初は、失敗したことを受け入れることができず、なかなか提出が思うようにいかなかったが、「成功するまでの過程をしっかりと記録しよう。」と言葉を掛けるようにすると、失敗した技もしっかりと提出できるようになった。授業の振り返り場面で、自分や友達の技を見て、お互いに称賛したり、アドバイスしたりする様子が見られた。



自分が考えた技のポイントを発表



練習の成果を動画で提出



友達の動きを撮影



振り返りを言葉で表現



## 体育大会団員の振り返りから

私は、今年初めて応援団をして副団長になりました。正直最初は不安ばかりでしたが、応援団のみんなや先生方がすごく支えてくれました。応援団のなかでも、ぶつかることがありましたが、みんなで考えながら、演舞が仕上がっていくのがとても楽しくなりました。体育大会では応援の部で優勝することができて本当にうれしかったです。

今年も人数制限があり、午前中だけの開催でしたが、心に残る最高の体育大会になりました。



【応援団の演舞の様子】

## 長距離走の授業やマラソン大会の振り返り（生徒の感想）

最初の授業では、仲のよい人と走っていたり、自分の実力を出さずに走っていたりしたけど、1人で自分のペースで走ってみると思っていたより、きつくなって、走るのが楽しくなりました。1, 2年の時はタイムなどは気にせず走りきればよいと思っていたけど、今年のマラソン大会の練習では、タイムを少しでも縮められるように風の方向やデッドポイントがきたときの走り方を自分なりに研究して、自分に合った走り方を見付けることができたと思います。本番は、少しきつくなってしまったけど、昨年より30位近く順位も上げ、最初から最後まで1人で走りきることができました。1, 2年生の時と比べて練習の時も自分なりに頑張ることができたと思います。

私は、とても長距離が苦手な人で毎年この時期がくると、「いやだな、走りたくないな」と思ってしまいます。でも、今年は最後の行事でもあるし、自分と向き合って頑張ろうと思いつつ、この授業を受けました。毎時間きつかったけど、前回のタイムよりも速く、次は何周を目指してときちんと目標を立てながら走りきりました。今年タイムや順位は去年よりも上がっていて、うれしかったです。自分と戦えたと思います。

私は練習の時に、自分に甘くなってしまい、歩いてしまうことが多くありました。けれど、本番では、友達が「頑張ろう」と言ってくれたおかげで歩くこともなく、最後まで切磋琢磨しながら、前回よりも35位順位を上げることができました。また、保体班後期最初の仕事もありました。みんなが走った証として、着順カードを受け取り、名簿に記録する仕事でしたが、すごくやりがいを感じました。自分にとって、人の役に立つということについて知れたいい機会でした。

## イ 異学年の考えや取り組む態度を見る機会の充実

校内マラソン大会においては、生徒会専門部保体班を中心に、計画及び大会運営を行った。3年生は、2年間の経験から率先して、話合いや計画を進めることができるが、1, 2年生は、話し合う内容や進め方がうまくわからない様子であった。教師の言葉掛けから、3年生の話し合う様子を見て、少しずつ意欲的に取り組むことができるようになってきた。大会運営において、「する・見る・支える・知る」関わり方を、設定したことで、保体班の活動を充実させることができた。「選手として走る」、「応援者として見る」、「大会運営を支える」、「応援してくれる人や支えてくれる人がいることを知る」ことにつながり、生徒一人一人が全力で取り組む体育的行事を行うことができた。



「する・見る・支える・知る」関わり方が体験できる校内マラソン大会

ウ キャリア・パスポートの活用

キャリア・パスポートは、生徒が自分の学習状況や自らのキャリア形成を見通したり、振り返ったりすることにより、自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育成したり、自己実現につなげたりするためのものである。

本校では、効果的に活用するために、年間を通して、生徒が自分自身を振り返るタイミングを逃さないように、年間計画を作成することとした。各学年で行事等の違いがあるので、学年ごとに作成し活用している。

体育大会	令和4年度知覧中キャリアパスポート 3年 組 番氏名( )				
<p><b>【目標】</b></p> <p>白組で力を合わせて優勝する。</p> <p><b>【頑張ったこと、心に残ったこと】</b></p> <p>中学校生活最後の体育大会だったので、絶対に成功させたいと思っていた。応援団を中心にみんなが一気懸命取り組んでいたと思う。特に、長縄は3-2みんなでたくさんの練習を積み重ね、工夫してきたので1位をとれたときは本当に良かった。何かのために、みんなで一つになって同じ目標に向かうことはすごく楽しかった。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今の自分(長所、努力点、頑張っていることなど) <span style="float: right;">なりたいたい自分(人物、進路など)</span></p> <p>長所(よく笑うところ) <span style="float: right;">祖父のような人</span></p> <p>努力点(部活でのキャプテンのサポートがテスト勉強) <span style="float: right;">→</span></p> <p style="text-align: center;">☆なりたいたい自分になるために、今、取り組む目標</p> <p>【学習面】1日2時間以上する。3年5月まで受験に備えて、一年からの総復習をおこなう。</p> <p>【生活面】規則正しい生活を送るように、10:00までに必ず寝る。スマホの使用を減らして、1日だけ使用。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>☆ 学校行事の振り返り</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">修学旅行</p> <p><b>【目標】</b>けがやコロナ対策をしっかりとし、友達と仲を深めていく!!</p> <p><b>【頑張ったこと、心に残ったこと】</b>この修学旅行を通して初めての体験をたくさんすることができた。何回も延期になったけど、先生方のサポートのおかげで行くことができた。思い切り楽しめたので、本当に最高の修学旅行だった。みんなと力を合わせてがんばった。自分も、何にもかもが特別に経験になった。</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">合唱コンクール</p> <p><b>【目標】</b>3-2のみんなで金賞をとる!!</p> <p><b>【頑張ったこと、心に残ったこと】</b>私たちは音楽の時間や休み放課後などに毎日練習を繰り返して、1ヶ月ほど練習がそろそろ、みんなとまとまった。最後みんながエニジンを組んで、1位という結果になった。本番は今の練習の成果をだして、3-2みんなが最高のステージを、金賞、最優秀賞をとって卒業した。</p> </td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">体育大会</p> <p><b>【目標】</b>白組で力を合わせて優勝する。</p> <p><b>【頑張ったこと、心に残ったこと】</b>中学校生活最後の体育大会だったので、絶対に成功させたいと思っていた。応援団を中心にみんなが一気懸命取り組んでいたと思う。特に、長縄(3-2のみんな)でたくさんの練習を積み重ね、工夫してきたので1位をとれたときは本当に良かった。何かのために、みんなが一つになって同じ目標に向かうことはすごく楽しかった。</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">青雲祭(文化祭)</p> <p><b>【目標】</b>修学旅行新聞と10年後の私を仕上げる。</p> <p><b>【頑張ったこと、心に残ったこと】</b>修学旅行新聞は班のみんなで作る作業を、自分から分担して仕上げていくことができた。パソコンを使ってまとめるのは難しく、たけが完成することまで大変だった。10年後の私を、夢をかなうための準備を、自分自身で仕上げる。目標をしっかりと意識して、仕上げる。自分のペースで、工夫した。いいものになった。</p> </td> </tr> </table> </div>	<p style="text-align: center;">修学旅行</p> <p><b>【目標】</b>けがやコロナ対策をしっかりとし、友達と仲を深めていく!!</p> <p><b>【頑張ったこと、心に残ったこと】</b>この修学旅行を通して初めての体験をたくさんすることができた。何回も延期になったけど、先生方のサポートのおかげで行くことができた。思い切り楽しめたので、本当に最高の修学旅行だった。みんなと力を合わせてがんばった。自分も、何にもかもが特別に経験になった。</p>	<p style="text-align: center;">合唱コンクール</p> <p><b>【目標】</b>3-2のみんなで金賞をとる!!</p> <p><b>【頑張ったこと、心に残ったこと】</b>私たちは音楽の時間や休み放課後などに毎日練習を繰り返して、1ヶ月ほど練習がそろそろ、みんなとまとまった。最後みんながエニジンを組んで、1位という結果になった。本番は今の練習の成果をだして、3-2みんなが最高のステージを、金賞、最優秀賞をとって卒業した。</p>	<p style="text-align: center;">体育大会</p> <p><b>【目標】</b>白組で力を合わせて優勝する。</p> <p><b>【頑張ったこと、心に残ったこと】</b>中学校生活最後の体育大会だったので、絶対に成功させたいと思っていた。応援団を中心にみんなが一気懸命取り組んでいたと思う。特に、長縄(3-2のみんな)でたくさんの練習を積み重ね、工夫してきたので1位をとれたときは本当に良かった。何かのために、みんなが一つになって同じ目標に向かうことはすごく楽しかった。</p>	<p style="text-align: center;">青雲祭(文化祭)</p> <p><b>【目標】</b>修学旅行新聞と10年後の私を仕上げる。</p> <p><b>【頑張ったこと、心に残ったこと】</b>修学旅行新聞は班のみんなで作る作業を、自分から分担して仕上げていくことができた。パソコンを使ってまとめるのは難しく、たけが完成することまで大変だった。10年後の私を、夢をかなうための準備を、自分自身で仕上げる。目標をしっかりと意識して、仕上げる。自分のペースで、工夫した。いいものになった。</p>
<p style="text-align: center;">修学旅行</p> <p><b>【目標】</b>けがやコロナ対策をしっかりとし、友達と仲を深めていく!!</p> <p><b>【頑張ったこと、心に残ったこと】</b>この修学旅行を通して初めての体験をたくさんすることができた。何回も延期になったけど、先生方のサポートのおかげで行くことができた。思い切り楽しめたので、本当に最高の修学旅行だった。みんなと力を合わせてがんばった。自分も、何にもかもが特別に経験になった。</p>	<p style="text-align: center;">合唱コンクール</p> <p><b>【目標】</b>3-2のみんなで金賞をとる!!</p> <p><b>【頑張ったこと、心に残ったこと】</b>私たちは音楽の時間や休み放課後などに毎日練習を繰り返して、1ヶ月ほど練習がそろそろ、みんなとまとまった。最後みんながエニジンを組んで、1位という結果になった。本番は今の練習の成果をだして、3-2みんなが最高のステージを、金賞、最優秀賞をとって卒業した。</p>				
<p style="text-align: center;">体育大会</p> <p><b>【目標】</b>白組で力を合わせて優勝する。</p> <p><b>【頑張ったこと、心に残ったこと】</b>中学校生活最後の体育大会だったので、絶対に成功させたいと思っていた。応援団を中心にみんなが一気懸命取り組んでいたと思う。特に、長縄(3-2のみんな)でたくさんの練習を積み重ね、工夫してきたので1位をとれたときは本当に良かった。何かのために、みんなが一つになって同じ目標に向かうことはすごく楽しかった。</p>	<p style="text-align: center;">青雲祭(文化祭)</p> <p><b>【目標】</b>修学旅行新聞と10年後の私を仕上げる。</p> <p><b>【頑張ったこと、心に残ったこと】</b>修学旅行新聞は班のみんなで作る作業を、自分から分担して仕上げていくことができた。パソコンを使ってまとめるのは難しく、たけが完成することまで大変だった。10年後の私を、夢をかなうための準備を、自分自身で仕上げる。目標をしっかりと意識して、仕上げる。自分のペースで、工夫した。いいものになった。</p>				

## 7 研究のまとめ

### (1) 研究の成果

- 年度初め、各単元のオリエンテーションの充実を図ることで、生徒自身が主体的に活動する場面が増え、1時間の運動学習時間量を確保することができた。技術向上や思考のための時間を確保できたことで、満足感や達成感を味わう活動場面が増えてきた。
- 各体育的行事において、リーダー育成や「する・見る・支える・知る」の多様な関わり方の意識化を図ったことで、満足感や達成感を味わわせることができた。
- 振り返りの時間を充実させたことで、他者に伝えたり、共感したりできる場面を設定することができた。異学年の考えや取り組む態度を見ることで、学年の役割を意識化させることにつながることができた。

### (2) 今後の課題

- ▲ 技術向上のための時間確保はできたが、全生徒の技能習得にまでは至ることができなかった。さらなる、指導力向上に努めていきたい。
- ▲ 体育的行事において、体育科が中心となって活動したが、各学級での称賛や振り返りの様子を他学年の担任と深めることができなかった。
- ▲ 運動・スポーツ好きの生徒の育成のために、家庭との連携が非常に重要であると感じた。学校での活動の様子を周知できる方法を検討していきたい。

## 8 終わりに

今回の研究の中で、生徒、教員が学びの共同体として、成長できる授業づくりや学校行事運営を行うことができたのではないかと感じている。一人の生徒、そして周りの学習者が、適切な手立ての中で、自発的に活動し、成長を感じることが最も重要だと考える。

しかし、教科や行事だけで学んだことが、他の教科や行事において活用されているか、また次のステージで生かされているかという疑問も生じてきた。そのため、カリキュラムマネジメントの重要性に気付くことができた。教科を横断し、他教科との関連性、行事で培った力をさらに深化、補充していく教育課程の実現を目指して、今後の研究に生かしていくことが大切である。

生徒一人一人が「楽しい」、「分かった」、「できた」喜び、満足感や達成感を感じることができる授業を目指して、今後も研究を重ねていきたい。